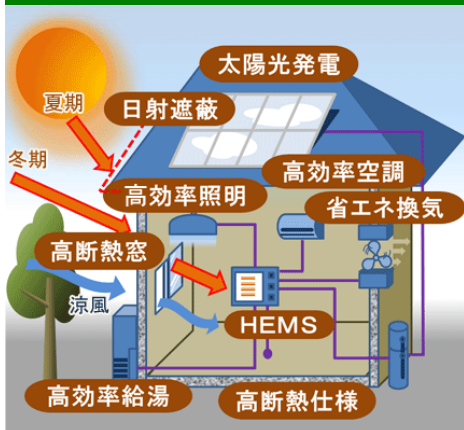


## 初めてのZEHを支援 新規取り組みビルダーに予約枠を設定



環境省は、2019年度のZEH住宅に対する補助金で、ZEHに初めて取り組む住宅事業者が補助金を使いやすくするために、抽選方式の一般公募とは別枠で、抽選のない枠を予約できるようにする。

一般公募の場合、一定期間公募を行い、抽選で補助金の交付が決まる。これに対し新規に取り組むZEHビルダー向けには、事前に枠を付与する。予約枠を使った交付申請公募期間に交付申請書等を提出すると、抽選を経ずに交付が決まる仕組み。合計約1000枠を想定している。

新規取り組みZEHビルダー向けの予約枠の申請期間は5月上旬から6月の予定。予約枠は1ビルダー1枠のみ。予約枠を使った交付申請期間は6月～7月中旬の予定で、交付申請期間中に未使用の場合は予約の権利は失効する。

一般公募は6月、7月、8月の3回の実施を予定している。

2019年度の予算案に盛り込まれているZEH補助金では、戸建て住宅(注文・建売)で、交付要件を満たす住宅(新築・改修)に1戸あたり70万円の補助を行う。CLTを一定量以上使用したり、先進的な再エネ熱利用技術を活用した住宅には1戸あたり90万円を上限に加算。蓄電システムを設置する場合、20万円または補助経費の3分の1を上限に、1kWhあたり2万円を加算。

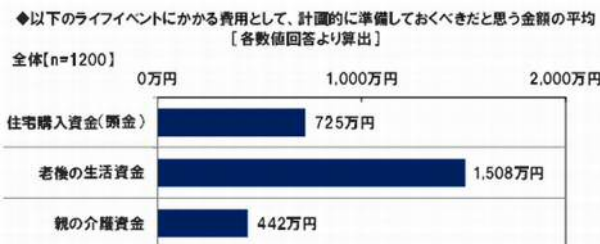
情報提供: 環境省・新建ハウジング

## 働く女性の「住宅購入資金」は725万円

日本FP協会このほど、「働く女性のくらしとお金に関する調査」の調査結果を発表した。それによると、「住宅購入資金(頭金)」として準備しておくべきだと思う金額の平均は725万円だった。

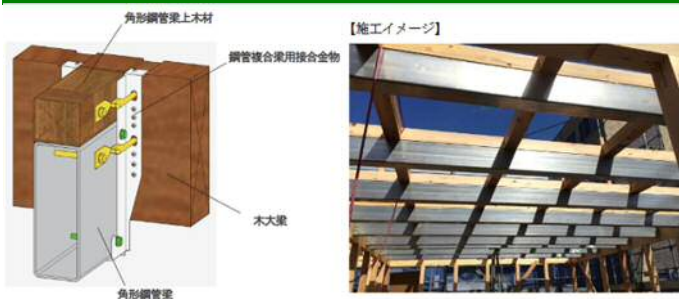
仕事や働き方に関する志向としては、「外で働きたい」が62.7%、「家庭に注力したい」が37.3%。世代別にみると、「家庭に注力したい」と答えた人の割合が最も高いのは20代(45.0%)だった。「働くなら、バリバリ働きたい」か「働くなら、ゆるく働きたい(家計の足しになる程度)」かを尋ねたところ、「バリバリ働きたい」が33.6%、「ゆるく働きたい」が66.4%となった。「バリバリ働きたい」の割合は50代(38.0%)が最も高かった。

同調査は今回で3回目。調査期間は2月15日～19日。全国の20代～50代の就業女性を対象にインターネット調査を実施した(有効サンプル:1200人)。



情報提供: 新建ハウジング

## 木材と角形鋼管のハイブリッド構造梁を開発



ナイスは日鉄住金建材と共同開発した非住宅用のハイブリッド構造梁「S WOOD BEAM MORE(エス・ウッド・ビーム・モア)」が、ハウスプラス確認検査にて「鋼管複合梁用接合金物」の評価書を取得したと発表した。

木材と角形鋼管を組み合わせた「エス・ウッド・ビーム・モア」は、角形鋼管梁で鉛直力を、上部の木材が水平力を負担する構造。小梁として使用することで木造として対応可能で、8m超スパンの大空間を木梁より約150mm小さい梁せいで建築できる。木材加工が容易なため在来工法・金物工法に使用でき、施工性に優れている。

同社グループでは、建築物の木造化・木質化に向けたサポート機能を提供しており、木造建築の企画から設計、積算、資材調達、木材加工、施工までワンストップで対応している。今後は「エス・ウッド・ビーム・モア」を工法のラインアップに加え、ニーズに合わせた最適な工法を提案していくという。

情報提供: 新建ハウジング